

## セグメント情報

# Baseball Club and Other Business

## 球団・その他事業



北海道ボールパークFビレッジ 俯瞰イメージ

### 新たなビジネスモデルで 事業価値、社会価値を向上

#### 球団・新球場を軸に「スポーツの価値」と「北海道の価値」を融合した、新しい街づくりを推進

ニッポンハムグループは工場や営業拠点だけでなく、「北海道日本ハムファイターズ」を通じて北海道における地域との共生、社会価値の醸成に努めてきました。2023年3月には、新球場「ES CON FIELD HOKKAIDO」を核とした「北海道ボールパークFビレッジ」が開業します。多様な観戦スタイルに加え、飲食サービスや各種エンターテインメントの提供により、野球に興味のない方も、試合がない時も楽しめる空間づくりを展開します。産官学さまざまなパートナーと

もに「スポーツの価値」と「北海道の価値」を融合したサステナブルな街づくりを進めていくと同時に、新球場においては球団事業の収支改善も図っていきます。

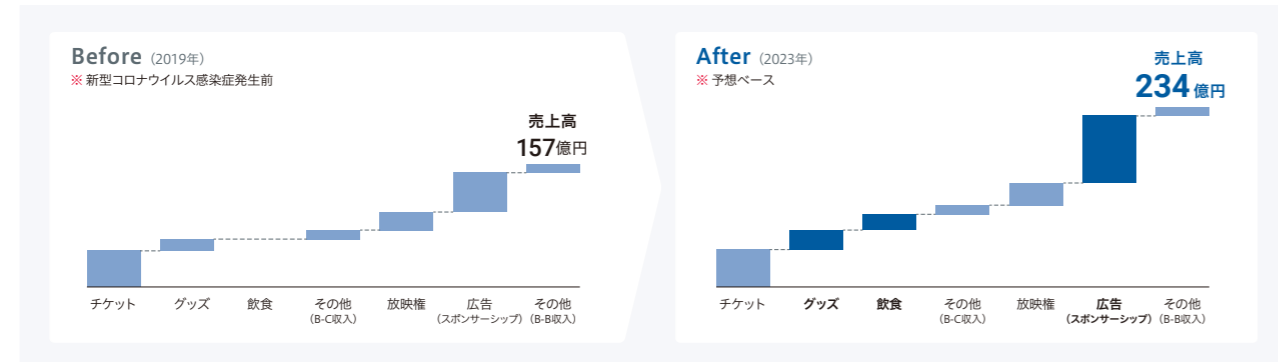


多様な観戦スタイルの実現。サウナ温浴施設からの観戦イメージ



試合がない日もお楽しみいただけるエリア。キッズエリアイメージ

#### 売上構成 Before/After



#### 「Vision2030」をカタチにし、新たなブランドをつくる新規事業を次々と展開

##### エンタメ事業

食のエンターテインメント D2C サイト「Meatful」を立ち上げ、手作り食体験や DRY MEATS など新たな切り口で商品やサービス開発、食の多様化に対応します。

##### ウェルネス事業

食品業界初の食物アレルギーケア総合プラットフォーム「Table for All」を立ち上げました。食の多様化と健康へのニーズに対応した、新たな価値創造を目指す事業として展開していきます。

##### エシカル事業

「たんぱく質で次世代を創る」をコンセプトに、普段使用しない未利用原料を有効活用するアップサイクル事業や、パーティカル・インテグレーション・システムを活用したサー

キュレーション事業を推進。また今後は、循環型農業としての農作物の育成などにも裾野を広げていく計画です。

#### 「サステナビリティボンド」を新球場の資金に充当

新球場「ES CON FIELD HOKKAIDO」を核とした「北海道ボールパークFビレッジ」は、単なる野球場ではなく、地域社会に根差し各種ステークホルダーとともに創造する「北海道のシンボルとなる空間」の構築を目指しています。北海道民や市民が誇りと愛着を感じられる空間となると同時に、持続的に成長する街づくりへの実現も視野に入れています。

また、災害時には避難場所として開放する予定であり、社会的価値も兼ね備えています。さらに新球場そのものが省エネ・省資源の環境負荷低減型となっていることも大きな特長の一つです。

これらの取り組みが評価され、日本政策投資銀行が環境・社会への配慮がなされた不動産と事業者を支援する制度である DBJ Green Building 認証制度において5つ星を取得しました。

このような評価を受け、新球場の建設に関する支出またはリファイナンスを資金使途として、「サステナビリティボンド」

を発行し、充当しました。「サステナビリティボンド」は、環境・社会課題の軽減やポジティブな成果を目指すプロジェクトのみに適応される債権です。当社グループは、2020年度に「5つのマテリアリティ」を特定しました。その一つに「持続可能な地球環境への貢献」を掲げており、新球場への本社債の充当は、持続可能な環境・社会への取り組みとして合致しています。

#### 「サステナビリティボンド」の概要

発行年限	10年
発行額	100億円
発行時期	2021年2月
主幹事	SMBC日興証券株式会社(事務) 野村證券株式会社
サステナビリティボンド・ストラクチャリングエージェント※1	SMBC日興証券株式会社

※1 サステナビリティファイナンス・フレームワークの策定およびセカンドパーティ・オピニオン取得に関する助言などを通じて、サステナビリティファイナンスの実行支援を行う者

資金充当状況の  
レポート

調達額※2

**9,949** 百万円

資金充当額※3

**9,949** 百万円

未充当残高

**0** 百万円

※2 本社債発行額から発行費用を除いた金額  
※3 全額をリファイナンス資金および関係会社投融資を通じた新球場建設に関する支出として充当しました

グリーン  
プロジェクト

**適格カテゴリ: グリーンビルディング**  
DBJ Green Building 認証の5つ星を取得

インパクト  
レポート

**適格カテゴリ: 必要不可欠なサービスへのアクセス向上**  
下記施設を設置予定

- 多目的トイレ
- 車いす利用者専用駐車場
- 車いす用の観戦スペース
- 盲導犬との同伴観戦スペース
- スロープ
- 3 塁側ゲート大階段のエスカレーター
- 備蓄倉庫における非常食、子ども向け無料玩具
- 都市公園内における多言語表記案内板

なお、このレポートが当社のサステナビリティファイナンス・フレームワークに適合しているか評価するためのレビューを Sustainalytics から取得しています。  
https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/nh-foods-ltd.-sustainability-bond-2021-annual-review-(2022)-japanese.pdf?sfvrsn=e023ef44\_1